

米倉教公の週間為替市場見通し

4/11 日週号

『中国重要指標に注目！』

ドル/円予想レンジ 107.00 - 110.00 円

■前週の市場動向

前週のドル/円の週足では、2週連続の陰線引けとなり始値 111.58 円から終値 108.09 円と約 3.50 円の円高となった。週明けは仲値に絡んだドル売りが出たほか、日経平均株価の下落が嫌気された。5日は米早期利上げ観測が後退したほか、日経平均株価が大幅に下落したことでリスク回避の円買いが強まった。さらに安倍首相が米紙とのインタビューで通貨安競争回避に言及したことで円買いが加速し、1年5ヵ月ぶりに110円を割り込んだ。また、FRBが6日公表したFOMC議事録がハト派的な内容だったことから、米早期追加利上げ観測が後退ドル売りが加速し、一時109.33円まで下落した。引けにかけては株価の買い戻しとともに109円台後半まで下げ渋った。7日は短期筋などから下値を探る展開となった。NYダウが大幅下落したことでリスク回避のドル売りが強まり、一時2014年10月27日以来の安値107.66円まで売り込まれた。8日は麻生財務相による円高けん制発言で一時109.09円までドルの買い戻しが入った。しかし、NYタイムでは円高けん制発言のドル買い戻しも一服すると、ジリジリと円高が進み108.09円で終了した。

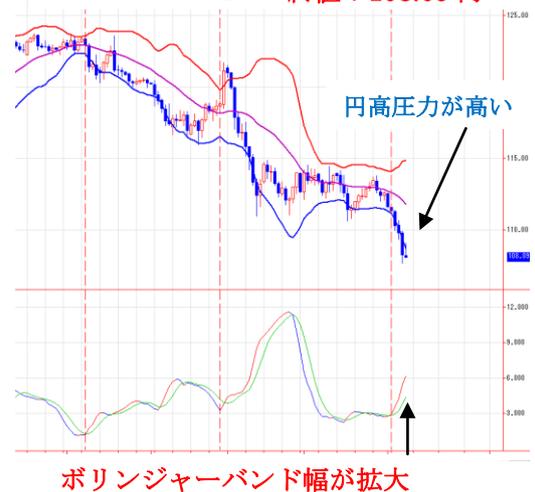
■今週の注目点：今週の注目是中国の経済指標と米企業決算の動向

今週は、ドル/円が下げ止まるかが注目点となる。材料となりそうなのが中国の重要経済指標となる。11日3月消費者物価指数(CPI)、13日3月貿易収支、15日1-3月期国内総生産(GDP)、3月小売売上高などが発表される。また、11日から米企業決算発表がスタートする。先頭バッターは米アルミ大手のあるコアが1-3月期決算を発表する。週内には大手金融機関の決算発表も予定されていて、株価への影響が焦点となる。さらに14日から米ワシントンで20カ国・地域(G20)財務相・中央銀行総裁会議が開催される。それまでに一段と円高が進んでいるようなら、円高が議題に取り上げられる可能性も指摘されている。ただ、円高時には政府・日銀からのけん制発言が予想され、ボラティリティが高まる可能性がある。

■テクニカル的な見解

4月5日付のシカゴIMM投機筋の対米ドルの差し引き持ち高で、円は前週の+54,387から+60,073へと円の買い持ちが増加した。2月以降レンジ相場内での値動きとなっていたが、そのレンジ相場を下抜けしたことで下値模索相場となる。また、ボリンジャー・バンドの日足では、バンドがスクイーズ(バンド幅の縮小)後から下放れとなったことで、円高圧力が強まっていることを示現している。さらに週末のロウソク足も上ヒゲ陰線引けとなり、下落基調の強まりを表している。ただ、政府・日銀も急速な円高進行に警戒感があり、円高進行時には円高けん制発言がボラティリティを高めるので注意が必要だ。投機筋は戻り売りスタンスは継続されよう。ドル/円の上値目途は、2014年10月24日10月31日安値109.17円、6日安値109.33円、7日高値109.90円となる。一方で下値は7日安値107.66円、2011年10月安値75.54円と2015年6月高値125.85円の38.2%押ししの106.63円、2014年10月15日安値105.19円が目途となる。

ドル/円：日足 終値：108.09 円



★先週の気になる出来事

『パナマ文書』が世間を騒がしている。キャメロン英首相やロシアのプーチン大統領、習近平親族などの名前が次々に公表された。その中早々にアイスランド首相は名前公表後辞任してしまった。キャメロン英首相もEU離脱の国民投票を控えて求心力が一気に落ちそう。ところで、不思議なのは米国人の名前が出てこないことだ。5月に全ての内容を公表されると言われているが、水面下での画策がなされている可能性がある。今後のリスク回避の材料となる可能性が高い。

商号：株式会社フジトミ

金融商品取引業者：関東財務局長(金商)第 1614 号

商品先物取引業者：農林水産省指令 22 総合第 1351 号,経済産業省平成 22・12・22 商第 6 号

加入協会：日本証券業協会、日本商品先物取引協会、一般社団法人金融先物取引業協会、

■くりっく 365 の売買手数料は 1 枚当たり最大でインターネットスタンダードコースが片道 0 円 (税込)、インターネットプレミアムコースが片道 648 円 (税込)、コンサルタント取引 (対面取引) コース及びコンサルタント取引 (対面取引) オンライン併用コースが片道 1,080 円 (税込) です。

■くりっく 365 における証拠金の額は、株式会社東京金融取引所が定める為替証拠金基準額で、原則週次で見直されます。その額は通貨ペアによって異なり、個人のお客様の場合最大で約 25 倍のお取引が可能です。

【くりっく 365－為替証拠金基準額の算出方法】

金融先物取引所が定める為替証拠金基準額は以下の計算式に基づき、算出致します。

計算式：為替証拠金基準額＝取引単位 (元本金額) ×4%× (5 取引日の為替清算価格平均値)

■「くりっく 365」には、以下のリスクがあります。

【価格変動リスク】

くりっく 365 は、取引する通貨の価格の変動に伴い差損が生じる場合があります、元本や収益が保証されるものではありません。建玉を維持するために追加で証拠金を差し入れる必要が生ずる場合があります。また、差入証拠金以上の損失が生ずる場合があります。

【レバレッジリスク】

くりっく 365 は、取引の額が預託された証拠金に比して大きくなるため、価格変動リスクその他のリスクがその比率に応じて増幅されます。レバレッジにより、その取引について必要となる証拠金の最大 25 倍までのお取引を行うことができます。

【信用リスク】

当社は、東京金融取引所を相手方とした「清算制度」に参加しており、お客様の証拠金は、全額取引所が区分管理しているため、原則として全て保全されています。しかし、当社の信用状況の変化等により支払いが滞ったり、破綻した場合には、返還手続きが完了するまでの間に時間がかかったり、その他不測の損失を被る可能性があります。

【システム障害リスク】

当社及び東京金融取引所のシステム、又はお客様、インターネット業者、東京金融取引所の間を結ぶ通信回線等に障害が発生した場合には、相場情報等の配信、発注・執行等が遅延したり、不可能になることがあり、その結果、不測の損失が発生する可能性があります。

【税制・法律等の変更リスク】

税制・法律又はその解釈等が将来変更され、実質的に不利益な影響を受ける可能性があります。

【金利変動リスク】

取引対象である通貨の金利が変動すること等により、保有するポジションのスワップポイントの受取額が減少、又は支払額が増加する可能性があります。ポジションを構成する2国間の金利水準が逆転した場合等には、それまでスワップポイントを受け取っていたポジションで支払いが発生する可能性もあります。また、一部の通貨においては、外国為替市場における当該通貨の需給関係等の影響を受けて、金利変動によらずにスワップポイントの増減や支払いの逆転が生じたり、場合によっては、金利の高い方の通貨の買いポジションでスワップポイントの支払いが生じる可能性があります。

【流動性リスク】

くりっく 365 で提示する為替レートには価格差（スプレッド）があります。くりっく 365 では、マーケットメイカーが買呼値及び売呼値を提示し、それに対してお客様が注文を発注して取引が成立する方式を取っています。状況（天変地異、戦争、政変あるいは為替相場の激変等）によって、マーケットメイカーによる買呼値や売呼値の安定的、連続的な提示が不可能または困難となることがあり、その結果、想定する価格で取引ができないなど、お客様にとって不測の損失が生じる可能性があります。また、一部の通貨において母国市場等の休業の場合には臨時に休場することがあります。更に、当該国の為替政策・規制による他通貨との交換停止や外国為替市場の閉鎖の措置がなされるなどの特殊な状況が生じた場合には、特定の通貨ペアの取引が不能となる可能性もあります。なお、平常時においても流動性の低い通貨の取引を行う場合には、希望する価格での取引ができないなどの不利益を被る可能性があります。

【コンバージョンリスク】

クロスカレンシー取引においては、決済が当該通貨ではなく円貨でなされることから、決済時に当該通貨の為替リスクの他に円との為替リスクがあります。

【ロスカットのリスク】

相場の変動により、有効比率が当社の定める基準以下となったことを当社が確認した場合、お客様の意思に関わらず、当社はおお客様の全ての未約定注文の取消及び全ての建玉の決済注文（ロスカット注文）の発注を行います。

ロスカットの場合でも、相場の急激な変動により損失の額が差し入れた証拠金の額を上回る可能性があります。

【情報リスク】

当社からご提供させていただく情報は、くりっく 365 の取引の参考としていただく資料です。その記載情報は、信頼性、正確性、完全性において保証されるものではありません。また、情報内容も予告なしに変更することもあります。

【その他】

取引所為替証拠金取引の売買は、クーリング・オフの対象とはなりません。取引所為替証拠金取引に関しましては、金融商品取引法第 37 条の 6 の規定の適用対象とはなりませんので、ご注意ください。

※くりっく 365 は、株式会社東京金融取引所の登録商標です。